

3 - 31 神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告 (1984年8月～10月)

Variation in Earth Resistivity at Aburatsubo

東京大学地震研究所

地球電磁気部門

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1984年7月までの観測結果は前回報告した¹⁾ので、今回は同年8月から10月までの観測結果について報告する。

第1図及び第1表に1984年8月より10月までの地震の前後での、比抵抗変化の記録を示す。第1図(19)、(20)は伊豆半島東方沖の地震による油壺における比抵抗変化である。地震時に比抵抗が増加している。同図のA部分は観測装置の不調によると推定される変動である。同図(21)は長野県西部地震による変化で、比抵抗は約 1.7×10^{-4} 増加している。この階段状変化は一見瞬間的に起ったように見えるが、記録された打点数から1分15秒以上かかっていることが読みとれる。B部分はレベル調節による変動である。同図(22)は房総半島南東沖による変化で、地震時に振動的变化を示している。

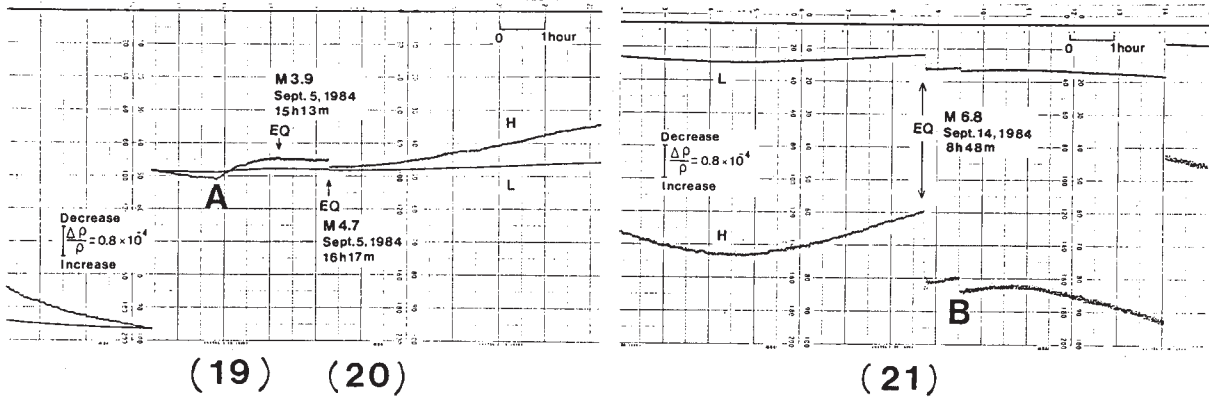
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化，連絡会報，**33** (1985)，205 - 209.

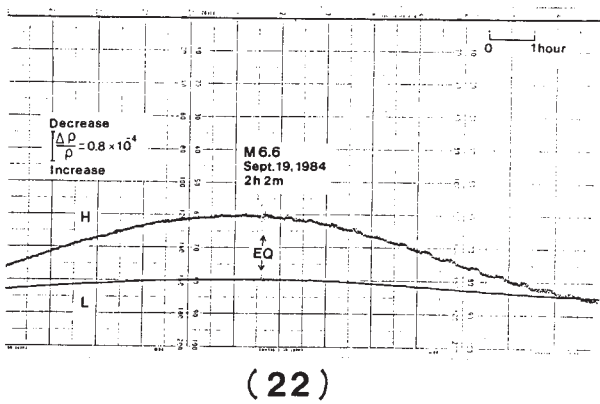
第1表 油壺における比抵抗変化を伴った地震とそれに依る比抵抗変化

Table 1 Earthquakes that caused resistivity change at Aburatsubo.

番号	年月日	時分	マグニチュード	緯度	経度	深さ km	震央距離 km	比抵抗変化 $\times 10^{-4}$	備考
19	1984. 9. 5	15 13	3.9	34° 55'	139° 14'	15	44	-	伊豆半島東方沖
20	1984. 9. 5	16 17	4.7	34 56	139 14	12	43	-0.18	伊豆半島東方沖
21	1984. 9. 14	8 48	6.8	35 49	137 33	2	203	+1.7	長野県西部
22	1984. 9. 19	2 2	6.6	34 03	141 33	13	213	-	房総半島南東沖



A : 観測装置の不調によると推定される変動
B : レベル調節による変動



第1図 油壺において観測された地震に伴う比抵抗変化

Fig. 1 Changes in earth resistivity observed at Aburatsubo in association with earthquake occurrence.